

	創造・感謝・勤労 飛 幡 中 2019年度	北九州市立飛幡中学校 学校通信 令和元年 7月19日 No. 9 発行責任者 校長 池 浩幸 学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号 TEL093-882-3652 FAX 882-3618
	【お疲れ様、今日で一学期終了！安全で、有意義な夏休みを！】	

7月中旬までの長い梅雨となりましたが、何となくすっきりとしない
 天気が続きました。



さて、一学期も今日までとなり、いよいよ明日からは夏休みです。楽しみにしている人も多いと思いますが、37日間（今年度からは1週間短くなります）という長い休みをいかに過ごすかで、二学期からの、またこれからの学校生活に大きく影響してきます。だらだらとした生活にならないように、きちんとした計画を立てて、有意義な毎日を送っていただけるよう心がけてください。

〔1. 学習面〕

- ☆一学期に習ったところをしっかりと復習する。（教科書、ノートを中心に）
- ☆宿題を毎日、確実に片づけていくこと。（宿題一覧は学年別に連絡しています）
- ☆一日2～3時間は机につこう。（6時間の学校生活から考えて、継続していく意味でも）

〔2. 生活面〕

- ☆何よりもまず、起きる時間と寝る時間を決め、生活リズムをくずさないこと。
- ☆健康管理をきちんとすること。（3食をしっかりととり、アイスやジュース類は控えめに）
- ☆スマホ、TVは時間を決めて。（どこかで切らないと、何時間あってもキリがない）
- ☆特に夜の外出は、保護者同伴で。（友人宅への外泊は禁止です）

〔3. 部活動面〕

- ☆部活動をしている人は、練習にきちんと参加すること。（無断で欠席をしない）
- ☆学校に来るときは、決められた服装で来ること。（当然、自転車で来ない！）
- ☆買い食いは絶対にしないこと。（部活動のきまりです）



※ 二学期の始業式は、**8月26日（月）**です。（忘れないように！）

【保護者会、ありがとうございました。】

12日（金）から行われた保護者会、蒸し暑さの中、参加していただきありがとうございました。一学期を終えて、各学年とも学校の生活リズムに慣れてきた頃ですが、特に中学生は、この夏休みが「ポイント」だ！とも言われます。

二学期からの学校生活も、再度初心に戻り、緊張感を持って頑張ってもらいたいです。そのためにも、この夏休みの生活を規則正しく過ごせるよう、ご家庭でもお声掛け等ご協力をお願いします。

また、この一学期間、保護者の皆様には本校教育活動に対し、たくさんのご理解・ご協力をいただきました。職員一同感謝しております。ありがとうございました。二学期も宜しく願います。



画：飛幡中 後藤 菜々子

改元

元号を初めて使用したのは中国である。けれども、世界中を見渡しても元号を採用している国は、今や日本だけだときく。古典に典拠して漢字を組み合わせた、時代に称号を名付ける元号文化は、実に意義ある伝統ではないだろうか。

というのは、改元は天皇の御代が替わる場合のほか、ほとんどが日照りや洪水、地震や疫病、火事や戦乱といった凶事のたびに為されてきた。

治世を願いながら乱世になるのが、ありがちな世相の成り行きであろう。とはいえ為政者が時代轉換の機をとらえ、改元によって世情を一新してきた元号の歴史は、日本人の叡智えいちの結晶であり、平和を願う文化遺産だったとは言えまいか。

改元に沸く一方、「明治は遠くなりけり」ではないが、古い時代が遠ざかる寂しさもある。過ぎゆく時代を愛しむ心を大切にしながら、次代をつくるものと心得よう。

日本人であることと、この時代にめぐり逢わせた僥倖ぎょうこうに感謝しつつ、わが国、そして世界中の弥栄いやさかを望まずにはいられない。

(PHPより)

※ 僥倖 (ぎょうこう) : 思いがけない幸い。偶然に得る幸運。

弥栄 (いやさか) : ますます栄えること。